

議会報告会 会場報告書

担当班：3班 班代表者：小島政行

概要			
地区名：西紀南地区 日時：平成28年11月9日(水) 19:30~21:00 場所：みなみほっとサロン 参加人数：12人(男12人・女0人)	【出席議員】 向井千尋 森本富夫 安井博幸 園田依子 小島政行 奥土居帥心	(1) 開会あいさつ：小島政行 (2) 議会報告：森本富夫 (3) 質疑応答：下記参照 (4) 意見・提言等：下記参照 (5) 閉会あいさつ：森本富夫	挨拶・総括：小島政行 司会進行：奥土居帥心 報告：森本富夫 受付・記録：向井千尋 安井博幸 会場(マイク)：園田依子

【主な質疑】

質疑・意見	回答
・国民健康保険税が高額である。低所得者への負担が大きいが低減措置等はないのか。	・高齢者の増加により医療費も増加していることからやむを得ない部分もあると考えていますが、篠山市の国保税は県下で下から8番目であり、他自治体と比べた場合に相対的には低いといえます。なお、所得に応じて2、5、7割の軽減措置があります。
・老々介護による事件を聞く。高齢化が進みこのような事件をおこさないための取り組みが必要ではないか。	・介護の必要な方や家族のためには、市地域福祉課の総合窓口で介護保険制度における各種サービスをうまく活用していただきたいと考えます。
・市民税や給食費の滞納者が多いと聞いている。原資がない方の回収は難しい部分があると思うが、原資がある方に対する回収の有効な手段はないのか。	・給食費の滞納対策として、10月から児童手当からの天引きを行っています。また、水道料金の滞納もあるが、コンビニ納付サービスの開始により、滞納状況が改善されたことを確認しています。

質疑・意見	回答
<p>・人口推移は年々減少している。Iターン、Uターンを市も進めているがどういった取り組みをしているのか。行政の取り組んでいる内容が見えてこない。</p>	<p>・平成28年3月に人口ビジョンを策定しました。今後、地域で活用が進められます。また、地方創生の補助金で駅ラボを開設してIターン者の誘致も進めています。また、子育て重点地区などの施策で少しずつ効果がでていきます。他に、物件案内など篠山暮らし案内所の「クラッソ」でネット発信を行っていますが、意見があったことを執行部に伝えます。</p>
<p>・交通費の補助、大阪までの特急券の補助、65歳以上の市の駐車料金を無料等が必要と考える。</p>	<p>・持ち帰り、執行部にお繋ぎします。</p>
<p>・政務活動費について、研修費と調査費の違いは何か。また会派によって両費目の支出額が大きく異なる理由は何か。</p>	<p>・研究研修費は、研修参加に係る旅費・宿泊費・講師謝金、研修負担金です。調査旅費は、旅費や先方への土産代等、その他経費であり、行政視察が主であることから、講師謝金や研修負担金は含まれていません。会派によって、研修や調査の割合が異なるため、支出額も異なっています。</p>
<p>・空き家対策について、市内の空き家件数や状態別件数など、空き家に関する情報を行政と市民で共有する必要があるのではないか。</p>	<p>・持ち帰り、執行部にお繋ぎします。</p>
<p>・篠山市内の兵庫医大や岡本病院などのリハビリ室を無料で使えるように交渉してほしい。また、医者を市で雇って初診料を要らないようにしてほしい。</p>	<p>・東雲診療所等の市運営の診療所もあります。また、いきいき塾がまち協単位で進められています。ご意見があったことを執行部に伝えます。</p>
<p>・みなみ・ほっと・サロン前の県道の拡幅工事はできないのか。</p>	<p>・土地収用の関係もあり、困難と考えます。また声をあげていただきたいと思います。</p>